



エクスタロット ルールブック

エクスタロットの遊び方コンテスト参加作品

026 聖杯七並べ

シュタイン

エクスタロットの遊び方コンテスト参加作品

ゲーム名：聖杯七並べ

バージョン：v1.00

考案者：シュタイン

受付日：2019年11月16日

概要 聖杯の役札が特別な機能を持つ七並べ

プレイ人数 2～7

使うカード 55枚

プレイの流れ 順番に出せる札を出していき手札を早く無くす

参照ルール 七並べ

概要 聖杯の役札が特別な機能を持つ七並べです。

プレイ人数 2人から7人程度

使うカード 通常のトランプ（ジョーカーを除く）に相当する 52 枚に「聖杯の休息」「聖杯の仮面」「聖杯の彼方」の3枚を加えます。

プレイ方法

だいたい伝統的な「七並べ」と同じです。手札を早く無くした順で順位が決まります。

すべての札を1枚ずつ全員に配ります。配る枚数に1枚の差が出てかまいません。

手札のなかに7がある人は出して場に並べます。

聖杯（ハート）の7を出した人から始めます。手札から条件に合った1枚を出して場に並べるか、またはパスをします。

ここで、条件というのは、場に出ている札とマークが同じで数字がその前後の札ということです。たとえば、手札のなかで、7の隣の6か8を持っていれば、それを同じマークの7の隣に置くことができます。そうして7を中心に両側に札をつなげていきます。AとKがいちばん端になります。列が完成すれば A 2 3 4 5 6 7 8 9 10 J Q K という並びになります。

手札が早く無くなった順で順位が決まります。

出せる札が無かったり出したくないときは「パス」と言います。

パスは1人3回までです。4回目のパスをすると負けになります。順位は4回目のパスで早く負けたほうが低くなります。（パスの回数を数えるのが不安な場合はチップを使います。3枚ずつ配っておき、パスのときに1枚を場に出します。もうチップが無いならすでに3回のパスをしたことになります）

手札から1枚を出すかパスをしたなら、時計回りに順番が隣の人に移動します。

次の3種類の札は普通に出すのではなく特別な出し方と働きをします。

「聖杯の休息」を出すと、パスのストレスが解消されたことになり、自分のパスのカウントを0にリセットできます。出した札は聖杯の7の下に入れておきます。

「聖杯の仮面」は、まだ場に出ていないどの札の代役にもなり、札が出せる場

所ならどこにでも出すことができます。そうすると、その位置の札を持っている人は直ちにそこに重ねて出さないといけません。

「聖杯の彼方」は、列の端を輪のようにつなげる機能があります。すでに出ているどれかのKかAの外側に出すことで、そのマークの列の両端（KとAの位置）は繋がります。たとえばKの外側に置いたなら、そのマークの2が出ていなくてもAが出せるようになります。この札はKかAが出るまでは出せません。

ルール募集

エクスタロットを使ったゲームのルールを募集しています。応募のあったルールは、エクスタロットのプレイに適しているか審査され、考案者の氏名、受付の日付とともに pdf で公開されます。考案者は、すでに掲載されたルールを修正・改良することもできます。ルールの申請方法は、エクスタロット・ゲーム情報サイト(<http://xtarot.jp/>)をご覧ください。

エクスタロットは、友達とプレイしながら、ルールを面白く改良していくことを目標にしています。そのため、ハード（カード）とソフト（ルール）を分けています。エクスタロット・ゲーム情報サイトでは、最新のルールやカードの情報を紹介しています。

聖杯七並べ

著者 シュタイン

2019 年 11 月 18 日発行 v1.00

発行者 有限会社銀河企画 (GPI.JP)

©2019 シュタイン／有限会社銀河企画